

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 23日

石川県知事 殿

提出者  
住 所 石川県河北郡津幡町南中条リ74番地1  
氏 名 株式会社 フィッティング久世  
代表取締役 久世 秀  
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)  
電話番号 076-289-2134

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 フィッティング久世
事業場の所在地	石川県河北郡津幡町南中条リ74-1
計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	24 金属製品製造業
②事業の規模	令和4年度製造製品出荷額 4,065 百万円
③従業員数	200名
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	<pre> graph LR     subgraph Path1 [Acid/Water Treatment]         A1[廃酸] --&gt; P1[排出]         A2[酸洗] --&gt; P1         P1 -- 委託 --&gt; B1[中和・無害化]         B1 --&gt; C1[凝集沈殿]         C1 --&gt; D1[圧搾]     end     subgraph Path2 [Alkali Treatment]         A3[廃アルカリ] --&gt; B2[焼却]         A4[廃アルカリ] --&gt; B2         B2 --&gt; C2[残渣]         C2 --&gt; D2[埋立]     end     subgraph Path3 [Oil Treatment]         A5[引火性廃油] --&gt; B3[蒸留]         A6[廃油] --&gt; B3         B3 --&gt; D3[埋立]     end     D1 --&gt; E1[汚泥]     D1 --&gt; E2[生物処理]     E1 --&gt; F1[埋立]     E2 --&gt; F2[放流]     </pre>

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
<p>(管理体制図)</p> <pre> graph TD     A[代表取締役(廃棄物担当役員)] --&gt; B[工場長(廃棄物統括処理責任者)]     A --- C[品質管理職]     A --- D[技術管理職①③]     A --- E[工務・設備職①②]     A --- F[営業業務職]     A --- G[生産管理職]     A --- H[第一部製造職]     A --- I[第二部製造職]     A --- J[第三部製造職]     A --- K[第四部製造職]     B --- L[安全衛生委員会]     B --- M[業務部]     </pre> <p>①特別管理産業廃棄物管理責任者 公害防止管理者</p> <p>②産業廃棄物処理責任者 工務・設備職;職長</p> <p>③廃棄物管理担当者 技術管理職;職長</p>	
特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	
①現状	【前年度（令和4年度）実績】
	特別管理産業廃棄物の種類 別紙のとおり
	排出量 t t
	<p>(これまでに実施した取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・酸処理時の条件の最適化(酸処理液の濃度・温度の最適化)により、同じ酸処理液での酸洗い処理量を多くし、廃酸を減量する。</li> <li>・アルカリ処理時の条件の最適化(アルカリ処理液の濃度・温度の最適化)により、同じアルカリ処理液での脱脂洗い処理量を多くし、廃アルカリを減量する。</li> <li>・引火性廃油の一部を再生溶剤の原料として社外業者に『蒸留・再生』の業務委託をすることにより、引火性廃油の排出量を減量する。</li> </ul>
②計画	【目標】
	特別管理産業廃棄物の種類 別紙のとおり
	排出量 t t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・酸処理時の条件の最適化(酸処理液の濃度・温度の最適化)により、同じ酸処理液での酸洗い処理量を多くし、廃酸を減量する。</li> <li>・アルカリ処理時の条件の最適化(アルカリ処理液の濃度・温度の最適化)により、同じアルカリ処理液での脱脂洗い処理量を多くし、廃アルカリを減量する。</li> <li>・蒸留再生機構を備えた炭化水素系洗浄機を使用することで、炭化水素洗浄液の排出を抑えると共に引火性廃油の排出も抑制する。</li> </ul>
特別管理産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	<p>(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃酸;酸液交換時、処分委託業者バキューム車により汲み取り</li> <li>・廃アルカリ;ドラム缶で等で保管</li> <li>・酸洗槽残渣;ケミカルドラム缶等で保管</li> <li>・引火性廃油;ドラム缶で等で保管</li> </ul>

②計画

(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)  
・上記に同じ。

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0.0t	0.0t
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0t	0.0t
	(今後実施する予定の取組) —		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0.0t	0.0t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0.0t	0.0t
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0t	0.0t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0.0t	0.0t
	(今後実施する予定の取組) —		

## (第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0.0t	0.0t
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0t	0.0t
	(今後実施する予定の取組) —		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・優良認定処理業者への処理委託。		

②計画	<b>【目標】</b>	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t
	再生利用業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・酸処理時の条件の最適化(酸処理液の濃度・温度の最適化)により、同じ酸処理液での酸洗い処理量を多くし、廃酸を減量する。</li> <li>・アルカリ処理時の条件の最適化(アルカリ処理液の濃度・温度の最適化)により、同じアルカリ処理液での脱脂洗い処理量を多くし、廃アルカリを減量する。</li> <li>・蒸留再生機構を備えた炭化水素系洗浄機を使用することで、炭化水素洗浄液の排出を抑えると共に引火性廃油の排出を抑制する。</li> </ul>		
電子情報処理組織の使用に関する事項	<b>【前年度（令和4年度）実績】</b>	
	特別管理産業廃棄物 排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	69.2 t
	<p>(今後実施する予定の取組等)</p> <p>電子マニフェスト使用済み [ 2008年4月～ ]</p>	
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。

①現状	【前年度（令和4年度）実績】			
	特別管理産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	引火性廃油
	排出量	42.1t	25.5t	1.6t
②計画	【目標】			
	特別管理産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	引火性廃油
	排出量	42t	23t	1t